

未来への扉

～進路支援通信 vol.1～

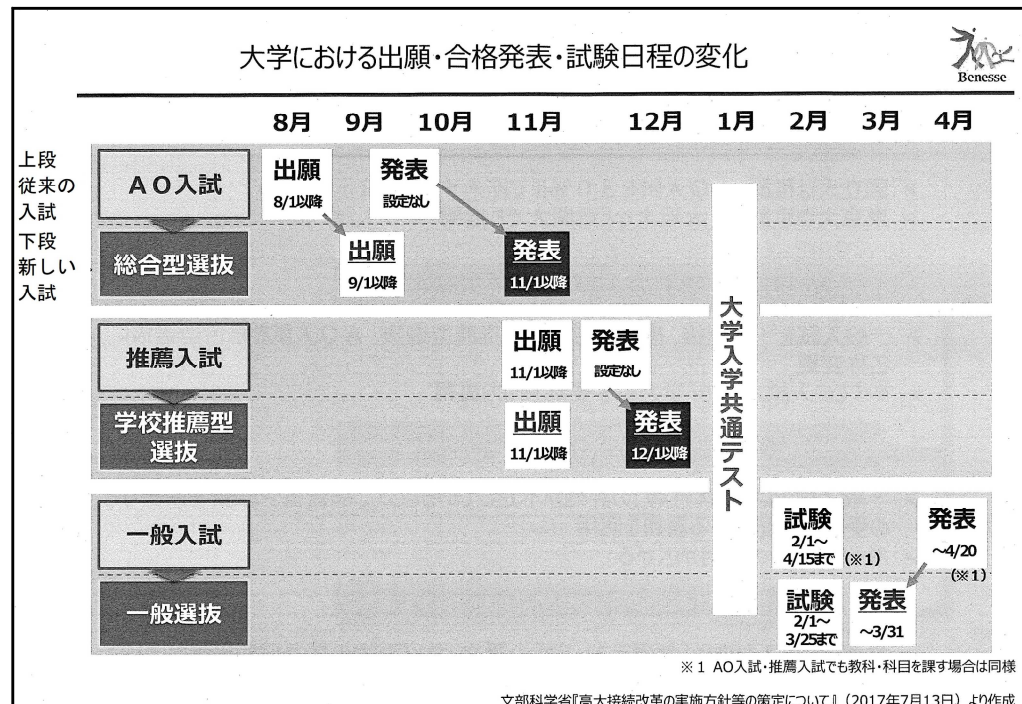
2020年4月13日(月)

兵庫県立福崎高等学校 進路支援部



新年度がスタートしました。休校期間が延長され、新しい学年での高校生活の実感のないまま、新学期が始まりました。今年度は入試改革による大学入学共通テストが始まる年であり、大学入試にかかわる入試方式・日程なども大きく変更されます。(下の図参考)

「進路支援部」は、生徒の皆さんが高校生活の中で進路の目標を定め、その実現に向けて一歩踏み出せるよう応援していきます。今年度の「進路支援部」は、部長 桑名浩之、大野純子、金岡亜希子の三人が担当として、皆さんの進路をサポートします。



～新学期にあたり、今すべきこと～

1. 生活習慣の見直し・立て直し

長びく休校で、生活スタイルが崩れていませんか。夜遅くまでスマホ・ゲーム・テレビに浸り、昼近くに起きる…というように昼夜逆転の生活を送っている人は、今すぐ生活習慣を立て直しましょう。規則正しい生活で健やかな身体を維持し、家庭での自主学習に励みましょう。

2. 三点固定を実践しよう

規則正しい生活を送るためにぜひ実践してほしいのが「三点固定」です。「起床時間」「学習開始時間(始業時間の8時半頃)」「就寝時間」を毎日決まった時間に固定することで、生活と学習のリズムを整えるのです。

- ・学校の授業時間のリズム(50～60分学習10～15分休憩)にあわせて過ごしましょう。
- ・「国語・数学・英語」の教科は、毎日学習すること。この3科目は毎日学習しないと、学力が身につかない教科です。

3. 自分を律する

他から規制や強制を受けない休校時間をどう過ごすかは、自分の判断と行動によって決まってきます。自由に時間が使える分、自分で時間をコントロールできなければ、4月、5月をムダに過ごしてしまうこととなります。毎日の学習計画をたて、毎日学習時間を確保し、どう課題に取り組むのか、自分でよく考えましょう。

1年生: 高校の学習スタイルに切り替える

まだ、高校での授業は始まっていませんが、予習→授業→復習という高校生としての学習スタイルを確立してください。各教科の担当教員から説明された学習方法を愚直に実行しましょう。一年で伸びる人の学習スタイルは以下の三点です。

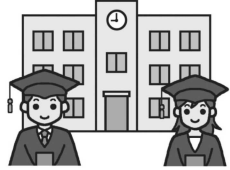
- ① 平日の自主学習時間1時間半(休日は3時間以上)。
- ② 学習開始時間を固定する。
- ③ ただ「暗記」するのではなく、「理解」して覚える。

2年生・3年生: 学習習慣、学習のやり方を振り返り、今後の目標を立てる


2年春に成績が伸びた人・難関大学に合格した人の7割以上に共通する点を次に挙げました。これまでの自分の行動を振り返り、自己評価(○△×)をするとともに、反省と今後の取り組み目標を記入してみよう。

成績が伸びた人・難関大合格者に共通する点	自己評価	反省&今後の取り組み
学習時間(平日2時間以上、休日3時間以上)の自主学習は確保できた		
学習開始時間を固定できた		
計画や目標を決めて学習していた		
優先順位を決めて学習に取り組んだ		

◇72回生の進路状況(合格者数)～志望校選びの参考に

国公立大学 14名	私立大学 189名
岡山大学 (工)	法政大学 (法・経済)
鳥取大学 (工)	京都産業大学 (外国語・法・経済・経営)
徳島大学 (理工)	龍谷大学 (農)
高知大学 (理工)	関西大学 (経済)
富山大学 (人間発達)	近畿大学 (工)
琉球大学 (工)	大阪工業大学 (情報科学・工)
兵庫県立大学 (理・工)	関西外語大学 (外国語・英語国際)
岡山県立大 (情報工)	関西学院大学 (法・社会・理工)
高知工科大学 (経済マネジメント)	甲南大学 (文・法・経済・経営・知能情報)
	神戸学院大学 (人文・心理・法・経済・グローバル他)
	武庫川女子大学 (文・経営・教育・生活環境)
	神戸女子大学 (文・健康福祉・家政)
	兵庫医療大学 (看護)
	神戸常盤大学 (教育・保健科学) など

短期大学 28名	専門学校 24名
武庫川女大短大 (英語キャリア・幼児教育・食生活・心理人間関係・健康スポーツ)	姫路医療センター附属看護学校
神戸女子短大 (幼児教育・食物栄養)	姫路赤十字看護専門学校
産業技術短大 (電気電子工学)	姫路市医師会看護専門学校
神戸常盤大短大 (口腔保健)	神戸総合医療専門学校 (診療放射線・理学療法士)
	姫路情報システム専門学校 など

就職 6名	
公務員	民間企業
国家公務員 (税務)	日本郵便(株) (窓口)
国家公務員 (事務)	兵庫西農業協同組合(株) (窓口)
自衛官	尾上組 (建築)
	

～進路支援部長のひとりごと～

今回のコロナウイルスの乱を、自分の成長に利用するための思考法
—「治にいて乱を忘れず」

生においては、旧連続(今までの連続)―非連続(切断と混乱)―新連続(新たな連続)―旧連続が繰り返される。こうなるのは、連続して使用しているシステム(制度)は時間がたつにつれて、現実から離れてしまうとともに勤続疲労を起し、質が低下してしまう一方で、慣性の法則で現状維持を続けようとしてしまう。そう言う中で、黒船来航のように、従来の連続を断ち切るような出来事が、意図的もしくは偶然的に生じ、世の中に混乱をもたらせる。それによってもはや今までのシステムや生活の継続ができなくなり、システムや在り様を一新せざるを得なくなり、新しい連続、新しい秩序が始まる。しかし、これも続けていくことでやがて、それも古びてしまうからである。大きくは人類や日本の歴史、小さくは個人の人生においてこういう循環は繰り返されてきた。

この循環性を意識すると、今回のコロナウイルスによる混乱は現代的生活の連続に対する非連続に対応するが、同時に、高校生が3年間で終わり、次に進む上で大学入試があるということが、高校生にとっての非連続に対応するのであり、どちらにおいても新しい段階、つまり新連続へと成長できるかどうか問われることになる。

どの社会においても、人生ノート各時期に、こういう非連続を意図的に用意してきた。それは通過儀礼と呼ばれるものだが、それを通過できない者はまだ次の新連続に進む能力がないとみなされ、再挑戦することが求められる。この通過儀礼の1番の代表は、一人前の大人とみなせるかどうかを評価される、本来の意味での成人式である。そして現代日本では受験勉強と大学入試が成人式としての役割を果たしている面があるといつてよい。

以上からすれば、コロナウイルスの混乱から新しい社会を作れるかどうか、日本や世界が大人になれるかどうか、自然が用意した通過儀礼として、試されているということになるとともに、それと類似した形で、高校生が、受け身的な学習者から大学で求められる能動的な学問者に変えられるかどうか、受験勉強と入試という、日本社会が用意した通過儀礼として試されているのである。

江戸時代の武士の生における基本精神に「治にいて乱を忘れず」ということがあった。鎌倉時代の武士には「いざ鎌倉」の精神があった。そして夏目漱石の弟子である寺田寅彦は、関東大震災を受けて「災害は忘れたころにやってくる」と警告を発した。いずれも生においては、非連続が来ることを前提として生きよという共通性がある。

歴史の知恵を踏まえ、今までの生活の連続が今後も当たり前が続くなどと思わずに、非連続がいつ来てもそれなりの対応ができるよう、長期的な視野で自分を鍛えながら、日常の連続を生きていく必要があると、今回のコロナウイルスによる混乱を見つつ、改めて確認している今日この頃である。